

## 第15回 ジェンダー問題 調査・研究報告会

～平成23年度の公募で選ばれた研究者が  
その成果を報告しました。～

■日時 7月14日(土)  
14:00～15:30  
■会場 ムーブ5階  
小セミナールーム



### テーマ「大学生のボディイメージと食および健康に関する意識・態度・行動の性差」

■報告者 東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科 教授 下田 妙子  
■コメンテーター 福岡県立大学 人間社会学部 人間形成学科 教授 小松 啓子

#### 目的

男女共同参画社会の実現に向けて、大学生を対象に現実と理想のボディイメージと食・健康に関する知識・態度・行動を調査し、ボディイメージと健康に関する要因を検討し、性差健康教育の方策を探るとともに、食環境整備の一助とする。

#### 調査・研究結果から見えた課題

- 20歳代女性のやせ傾向が年々増加し、新しい命を育むことへの大きな問題になっている。
- 自分のボディイメージの実情と理想との乖離が大きく、特に「普通」「やせ」体型でも、無理をしても、どんな方法を試してもやせたい、と考える女子学生が非常に多い。
- 男性の半数があまり栄養や食事について考えておらず、関心が低い。
- 性別、体型にかかわらず、朝食の欠食率が全国平均を上回っている。
- 男性の方が「女性らしさ、男性らしさ」を求めており、食事作り＝女性という意識と関連が見られる。

#### 対談

- 小松 女子学生のボディイメージは、同性の友人や保護者の視線を意識し、よりやせ体型へと願望がシフトしています。
- 下田 特に日本の女子学生は、メディアの影響でスリムな女優を理想としています。女性の長所＝ボディ(外見)という意識を変えなければなりません。
- 小松 北九州市の朝食欠食率は全国よりも高いので1日の活動を開始する元気が出ないのではないのでしょうか。
- 下田 欠食等の食生活を反映してか、福岡県は生活習慣病の罹患率も高いです。北九州市は女性の有職率が非常に高いですが、男女共に食生活をおろそかにしがちで、それが少子化にもつながります。男女が、食について考える環境を整える必要があります。
- 小松 学生がサプリメントを多用するのは、足りない栄養分を補うためではないのでしょうか。
- 下田 サプリメントは限られた栄養分しか摂取できず、過剰摂取の問題もあります。食事をきちんととることで、健康に必要な微量元素が摂取できます。
- 小松 男性も女性も体脂肪を敵視し、体脂肪の大切さを理解してくれません。
- 下田 特に女性の場合は、体脂肪が無いと生理が止まり、次世代の命を育めないことを認識する必要があります。
- 小松 女性は運動せず、食事を抜くという、体づくりで最もまずい方法でやせようとしています。
- 下田 消費エネルギーの不足は、余分な脂肪を溜め、呼吸や血流などの基礎代謝や体温を下げるので、女性は特に妊娠しにくくなるという問題も生じます。



#### 提言

- 「やせは美の象徴」という考えから脱却し、自分らしく健康に生きることを追及した健康教育を推進する必要がある。
- レストラン等で栄養素やカロリーを表示し、自分の健康づくりが出来る食の環境整備を行う。
- 若者の食に対する意識を高めるため、健康ポスターコンクールを行い、公共の場に掲示する。
- 若者による「食育マイスター探検隊」を選定し食環境調査を行い、若者の視点から提言をする。

## マガジンリサイクル御礼!!

7月7日(土)～7月22日(日)

ムーブ図書・情報室の蔵書のうち、保存年限を過ぎたため除籍した雑誌を無料でお持ち帰りいただきました。毎年恒例の事業ですが、行列のできる日もあり、たくさんの方々にご利用いただきまして、ありがとうございました。おかげさまで、1,722冊の本がリサイクルできました。

### 誌上講座

第2回

## リプロダクティブ・ヘルス/ライツ



一般社団法人日本家族計画協会 きたむら くにお  
家族計画研究センター所長 北村 邦夫

自治医科大学医学部卒。1988年から日本家族計画協会クリニック所長。現在、厚生科学審議会臨時委員、日本思春期学会副理事長などを務める。著書には「セックス嫌いな若者たち」(メディアファクトリー新書)など多数。現在、読売新聞社のサイト・ヨミドクターで「Dr北村の「性」の診察室」連載中。

### 男は逃げられる、女は逃げられない

クリニックを訪れた高校2年生は妊娠3ヵ月。相手の男性は大学生でした。付き合い始めて1ヵ月で別れたといいます。妊娠という重荷を背負い込んでいることには気づかずに…。選択肢が中絶しかないことははっきりしていましたが、彼との連絡は途絶えたままでした。中絶を選択するにしても時間的余裕がないことを語り、早いうちに彼に妊娠の事実を告げるようにとお願いしたんは帰りました。

数日後、目を泣きはらしやってきた彼女。2ヵ月ぶりの彼の再会は散々たるものでした。「妊娠しているの」と告げると、「俺の子だって証拠があるのか」「おまえが俺以外の男と寝ていないという証拠があるのか」と返されたそうです。でも、この男性からの問いかけに明快な回答を出せる女性は誰ひとりとしていません。だからといって、男性ばかりを責めることはできないでしょう。そのような程度の男性であることを見抜くことができなかった女性の愚かさ。求められるままにセックスを許してきた責任。挙げ句は、乱暴な言葉を向けられたということです。

このような事例に接しながらいつも思うことは、「男は逃げられる、女は逃げられない」というのが妊娠の厳然たる事実だということです。確かに、セックスは対等な関係の中で営まれるべきものでしょう。だから避妊についても、男女ともに応分の責任を負い、時には男性がコンドームによって避妊することは当然のことかもしれません。

2010年に僕自身が行った「第5回男女の生活と意識に関する調査」によれば、避妊している人の85.5%がコンドームを、15.9%が膣外射精と回答しています。経口避妊薬(ピル)は3.4%に過ぎません。「妊娠するのは私、避妊するのはあなた」とばかりに、男性に身を任せていて、本当にいいセックスができるとは思えません。2人の間で、どのような避妊法が選択されようと、その結果として起こる、妊娠、中絶、出産、多少の男性参加が行われるかもしれませんが、育児についてもそれを引き受けるのは、紛れもなく女性だということはどう捉えたらよいのでしょうか。

仕事柄、水子供養寺でひとときを過ごすことがあります。

年老いた女性がひざまずき、花を手向けながら涙している姿を遠目に見ながら、「もういいよ。十分だよ」と声を掛けたい気持ちを抑えることができません。まだ成人にも達していない女性の姿を見かけることもあります。しかし、妊娠とは男性と女性の行為の結果であるにもかかわらず、残念なことに男性が手を合わせている姿を目撃することはありません。だからこそ、女性には妊娠をもっと真剣に考えて欲しいのです。そんなこともあって、僕は女性に向かって「コンドームを避妊法だとは考えるな」と言うことにしています。相手に信頼を寄せられないのは悲しいことですが、こと避妊については、男性に依存せず、女性が女性としてできる避妊法を最優先すべきだと考えるからです。若者であれば、誰が何と言おうと低用量ピルを、妊娠経験があるならば子宮内避妊具やピルを避妊法の第一選択とし、さらにコンドームを併用して欲しいものです。この場合、コンドームは女性側からみたら、避妊の補助手段に過ぎず、同時に性感染症を予防するための用具と捉えるべきです。もちろん、男性としては唯一の避妊法として重視しなければなりません。



鎌倉・長谷観音にて 恩師である故松本清一先生撮影

「セックスをするのはまだ早い」と戒めているわけではありません。自分の意思でそれを本当に望むのであれば、誰にも止めることはできません。しかし、「彼に嫌われたくなかった」とか「彼がかわいそうだった」に代表されるような、主体性を失ったセックスだけは避けろと強調したいのです。

# 男性にとっての男女共同参画

～男性にとっても暮らしやすい社会を～

男女共同参画というと多くの方が、女性のためのものと感じているかもしれませんが、男性にとっても重要な問題だと思えます。

そこで本特集では、男性の視点から男性にとっての男女共同参画について考えます。

## 中高年男性のワーク・ライフ・バランス ～幸せの「老い支度」に向けて

ニッセイ基礎研究所 主任研究員 土堤内 昭雄



### ■ 変わる中高年男性の介護環境

これまで中高年男性の介護問題というと、自らは介護される「要介護者」の立場が中心だったのではないのでしょうか。というのは多くの中高年男性は専業主婦の妻を持ち、現役時代に親の介護が必要になれば妻に任せ、定年後には妻に介護されて看取られ、妻や老親の介護が生じても娘や息子の配偶者(嫁)に期待することができたからです。

しかし、このような中高年男性をめぐる介護環境は今、大きく変化しています。まず、男性の生涯未婚率の上昇や婚姻期間が長い熟年離婚が増加し、中高年男性の単身者が増えています。また、中高年男性の場合も妻が働いている「共働き世帯」が増え、働く妻は夫の親の介護まで手が回りません。そして定年後に妻や老親の介護が発生しても、子どもがいないなど子どもに介護負担を求めることは難しくなっています。

このように今や中高年男性は、妻や老親の介護問題では「介護者」としての当事者意識が強く求められているのです。そして長寿化に伴う介護の重度化、長期化から現役時代の介護離職のリスクが高まり、「仕事と介護の両立」は他人事ではなくなっています。

また、定年後には多くの中高年男性が妻や老親の介護問題に直面する「老々介護」の時代を迎えているとも言えます。

### ■ 仕事と介護の両立 (ワーク・ライフ・バランスの実現)

中高年男性には企業において管理職・専門職を務める人や自営業を営む人も多いでしょう。その人たちが、妻や老親の介護のために離職せざるを得ない状況が発生しています。多くの中高年男性にとって介護のためのワーク・ライフ・バランスの実現は差し迫った課題です。では、これらの介護離職を防ぐためにはどうすればよいのでしょうか。

個人としては介護を1人もしくは家族だけで抱え込まないことです。わが国では2000年に公的介護保険制度が導入され、介護の社会化が進んでいます。最大限に介護サービスを活用し、それを補完するような家族介護をすることで、要介護者と介護者双方の生活の

質(QOL)(※)を高めることができます。但し、介護保険のサービスを活用するには十分な知識と情報が必要なことも忘れてはなりません。

一方、企業にとっては重要な役割を担った中高年管理職等を離職させないための介護支援が急務です。これまでの少子化対策として若年層向けの「仕事と子育ての両立」支援に留まらず、中高年男性向け(もちろん中高年女性を含む)の「仕事と介護の両立」を視野に入れたワーク・ライフ・バランスの促進が必要です。企業は中高年男性の置かれている介護環境の変化を理解し、柔軟な働き方ができるような勤務時間や勤務場所を設定し、介護休暇や介護休業など介護に関する支援制度の整備と情報提供を行うことが有効でしょう。

### ■ 幸せの「老い支度」

今後、多くの中高年男性は介護当事者になります。介護は子育てと違いその負担は徐々に重くなり、なかなか将来の予測がつきません。現役時代に介護離職をしないためにも、また定年後に自らの人生を楽しむためにも「介護者」シナリオを織り込んだ「老い支度」が必要です。人は介護に直面することで自分自身の老後の生き方を具体的に描くことができるようになります。中高年男性の「仕事と介護の両立」のためのワーク・ライフ・バランスは、自らの高齢期の生活の質(QOL)を高め、要介護者と介護者の「朗々介護」をもたらします。このような「朗々介護」を経験した中高年男性は、幸せの「老い支度」上手に他ならないのです。

※QOL  
QOLとはQuality of Life  
(クオリティ・オブ・ライフ)の略です。



土堤内 昭雄プロフィール  
1988年ニッセイ基礎研究所入社。少子高齢化、コミュニティ、ライフデザイン等に関する調査・研究および講演・執筆を行う。厚生労働省社会保障審議会児童部会委員等を務める。  
著書に「父親が子育てに出会う時」、「人口減少」で読み解く時代」など。

## 男性にとっての男女共同参画 ～共に介護を担う時代～

立命館大学 産業社会学部 教授 津止 正敏



私が事務局長を務める「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」(男性介護ネット、2009年3月発足)が活動を始めて丸3年半が経過しました。介護の視点から男女共同参画社会を考えてみようと思います。

### ■ 男性介護者100万人時代

男性介護者は既に100万人を超えています。サブの介護者としての男性ではなく、正真正銘の「主たる介護者」としての男性たちです。

日本で初めて全国規模の介護調査が行われたのが1968年。当時20万人と推計された要介護高齢者は、今や認定を受けた方だけでも500万人をゆうに超えています。つい最近発表された厚生省の推計調査(8月24日)では認知症の人はもう305万人に上り、65歳以上の10に1人とされています。

介護者の続柄も激変し、1968年には介護者の半数を占めていた「子ども配偶者(嫁)」は、2010年国民生活基礎調査(世帯票)ではもう6人に1人ほどに激減しました。嫁の撤退と裏表の関係にあったのが夫や息子たちで、共に15%弱と数倍に増えています。

父、兄弟、甥、孫、婿等という「その他」の男性介護者、独身の子どもが介護する「シングル介護」も増えています。老若男女を問わず誰もが否応無く介護者役割に遭遇する時代を迎えているのです。

### ■ 男性の介護実態

男女共同参画という視点からみれば、介護者役割を担う男性が増えているということは確かに喜ばしいことには相違ないですが、男性の介護実態を見れば手放しで歓迎されるような事態にはなっていません。むしろ介護の問題がさらに深刻になっているようです。

生活スキルを期待されることの無かった男性には、炊事・掃除・洗濯などの家事はもちろん入浴・排泄・移動といった介護の困難もあります。被介護者から四六時中目が離せず自由になる時間が全くなり疲弊する介護者もいます。家族の大黒柱という規範や自負が自縛自縛となって過剰な家族的責任を呼び込み、弱音をはかずに誰にも頼らず1人ですべてを抱え込み、葛藤を深めることもあります。ビジネスモデルのような男性特有の介護スタイルが社会との関わりを疎遠にし、孤立に向かうのです。仕事と介護の二者折

一を迫られ仕事を辞めた人もいます。家計の大黒柱の介護離職は経済的問題を発生させ、経済的基盤の揺らぎは将来の希望をも奪い絶望へと接続します。ある日突然にこれまでの生活バランスを失い危機をはらんだ介護生活—多くの男性介護者によって語られた介護実態です。

こうしてみると100万人を超える男性の介護実態が教えているのは、男性も女性のように介護しようということではないのです。女性たちの無償の家族労働によってのみ成り立ってきたこれまでの介護システムをただなぞっていくことでは、今この社会が抱えている介護問題は決して解決しません。男女が共に介護を担う時代、というのは家族が介護することを当然視しこれを正当化するというのではなく、男女が共に手を携えて、家族と自分の老後を安心して託すことが可能な新しい介護システムを構想していくことにほかなりません。

### ■ ケアメン

男女が共に介護を担う時代ということは新しい社会の幕開けに違いありません。男性介護ネットはその幕開けのエンジンになろうと「ケアメン」を提起しています。

「ケアメン」—耳慣れない言葉かもしれませんが、妻や親を介護する男性のことで、育児のイクメンに倣いました。介護だけでなく、仕事や家計、家事、孤立など介護から派生する諸課題をも社会化するために、男性介護ネットが提唱しているムーブメントのシンボルです。

これまで介護は辛くて嫌なもの、できれば避けたいものとされてきました。育児や介護などケアを排除して成り立つ働き方も「デキる」ビジネスマンの典型とされてきました。しかし、ケアを組み込んだ暮らし方や働き方のほうが、実は人生をより豊かにできるのではないかと私たちは反省的に主張しています。「ワーク・ライフ・バランス」を「ワーク・ライフ・ケア・バランス」へと進化させる課題です。理解と合意が広がってくれたら嬉しいです。

津止 正敏プロフィール  
1953年鹿児島県生。立命館大学教授。同大学院社会学研究科修士課程修了。京都市社協に20年間勤務(地域福祉部長等歴任)の後、2001年より現職。「男性介護者と支援者の全国ネットワーク(男性介護ネット)」(2009年3月発足)の発足に関わり事務局長に就任。主な編著に「男性介護者白書」「ボランティアの臨床社会学」など。



## 資格取得講座

### パソコン講座

初心者からキャリアアップを目指す方まで、レベルに合わせて受講できます。

**【開催時期】**  
 第4期 10・11月 火曜・水曜・金曜・土曜日(週1回、全8回)  
 第5期 12・1月 (各8コース) 木曜日(概ね週1回、全6回)  
 第6期 2・3月 午前 10:30~12:30  
 午後 14:00~16:00  
 夜 18:30~20:30

**定員** 各コース20名(先着)  
**対象** どなたでも  
**受講料** 12,000円(全8回) 9,000円(全6回)  
 ※別途テキスト代  
**託児** あり(午前・午後コースのみ)

ワード/エクセル	試験対策講座	その他
入門 初級 中級	ワープロ部門 2級、3級 表計算部門 2級、3級 データベース部門 3級 (コンピュータサービス技能評価試験) 平成23年度CS試験 ワープロ3級 合格率94.4% 表計算3級 合格率81.8%	ブログ作成 パワーポイント メール入門 インターネット入門 デジカメ活用



## 自己啓発講座

### 英会話講座 初級・中級

アットホームな雰囲気の中、レベルに合わせた授業を行います。  
 中級の講師はネイティブの方です。

**【開催日時】**  
 第3期 2013年1月9日~3月27日  
 毎週水曜日  
 ※3月20日(水)は祝日のため、3月21日(木)に振替  
 初級 13:00~14:30  
 中級 19:00~20:30

**定員** 各コース15名  
 (選考、13名以下の場合は開講中止)  
**対象** 初級 英検3級程度  
 中級 英検2級程度  
**受講料** 初級12,000円  
 中級15,000円  
**託児** あり(初級のみ)

## 女性の起業を応援します

### 「私の事業」スタート講座 女性起業家支援塾2012

「起業してみたいと考えているけれど、まだはっきりしたビジョンが持てない」といった女性を対象に、実際に起業するために必要な知識を学び、起業したい事業内容を明確にする講座です。起業に向けた第一歩をサポートします。

**【開催日時】**  
 11月4日(日)、10日(土)、11日(日)、17日(土)、18日(日)1日コース(全5回)  
 10:00~17:00  
**定員** 18名(抽選) **申込み締切日** 10月15日(月)  
**対象** 起業を考えている女性で全日程に参加できる方  
**受講料** 12,000円  
**託児** あり(1日コースのため、託児は700円となります)

**ココがちがう!**

- 明確なビジョンがまだ描けていない初心者の方でも大丈夫!
- 様々な事業形態について学び、あなたにあった事業モデル選びをサポート!
- 人脈づくりに貢献(卒業生、先輩起業家による体験談)



## 生活実験・技術講座

### エプロン男子

料理の楽しさを知ってもらうことで、男性が積極的に家事を行うことを目的とした講座です。

**【開催日時】**  
 2013年1月19日(土)、2月16日(土)、3月16日(土)(全3回)

**定員** 午前・午後開催 各16名(抽選)  
 午前 10:00~13:00  
 午後 14:00~17:00  
**対象** 午前 働いている男性  
 午後 50歳以上の男性  
**受講料** 4,000円  
 (3回分の材料費、エプロン代込)  
**託児** あり



### 父と子の料理教室

父と子で食の大切さと料理作りを合わせて学ぶ講座です。

**【開催日時】**  
 12月15日(土) 13:30~16:30

**定員** 12組(抽選)  
**対象** 4歳から小学校4年生までの子どもとお父さん  
 (おじいちゃんも可)  
**受講料** 大人1,000円  
 子ども600円(材料費込)  
 (会食のみお母さん  
 参加可500円)  
**託児** あり



講座のお問い合わせ

事業課 TEL. 093-288-6262

## 11月はワーク・ライフ・バランス推進月間です!

### ~北九州市ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン~

北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会と北九州市では、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の意義や必要性を多くの方に理解してもらうため、11月を推進月間として、市内各所において集中的な広報啓発事業を実施します。

**11月1日(木)** ワーク・ライフ・バランス  
 企業向け講演会  
 15:30~17:10  
 ・講師 大里総合管理株式会社 野老 真理子さん  
 内閣府ワーク・ライフ・バランス官民連絡会議委員 渡美 由喜さん

**11月10日(土)** FM KITAQ  
 特別ラジオ番組公開録音  
 12:00~13:00  
 ・ゲスト つるの剛士さん ・場所 チャチャタウン小倉

**11月3日(土・日)** ワーク・ライフ・バランス  
 オリジナル体操発表イベント  
 12:00~  
 ・ゲスト 大内 義昭さん ・場所 チャチャタウン小倉

**11月13日(火)** JR小倉駅街頭啓発、  
 ノー残業デー呼びかけ ほか  
 18:00~18:30  
 ※詳しくは、ホームページをご覧ください。時間は予定です。  
 (はじめよう!ワーク・ライフ・バランス <http://wlb-kitakyushu.jp/>)

お問合わせ 北九州市子ども家庭局男女共同参画推進部  
 (北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会事務局)  
 〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号  
 TEL.093-582-2405 FAX.093-582-2624



## 第23回 アジア女性会議ー北九州

(財)アジア女性交流・研究フォーラムからのお知らせ

### 「力を合わせよう 女性、女兒への暴力をなくすために」

基調講演では、女性への暴力をなくすことを目指して男性が男性に呼びかける運動を世界中で行っている「ホワイトリボンキャンペーン」の英国理事 クリス・グリーン氏に講演いただき、続くパネルディスカッションでは、国際的な動向、ヨーロッパや韓国、日本での取り組みを通じて、課題を浮き彫りにします。

**日時** 11月10日(土) 13:00~15:30  
**会場** ムーブ5階 大セミナールーム  
**定員** 130名(先着順)  
**参加費** 無料  
**託児** あり(1人500円 要予約)  
**申込み方法** 電話、FAX、ホームページ、E-mail  
 (exchange@kfaw.or.jp)にて



クリス・グリーン氏

### KFAW領事館シリーズがスタート!

(財)アジア女性交流・研究フォーラムでは、新たな国際連携事業として、在福岡領事館の総領事による講演会「KFAW領事館シリーズ」を開催することになりました。  
 さる8月18日には中国駐福岡総領事の李天然(リ・テンネン)さんをお招きし、中国の若者の中国の就職、婚活、家族、エンターテインメントについてお話いただきました。  
 会場からはたくさんの質問をいただき、活発な意見交換ができました。  
 今後も順次、各国総領事の講演を予定していますので、お楽しみに!

お問合わせ (財)アジア女性交流・研究フォーラム  
 TEL.093-583-3434  
 FAX.093-583-5195  
 URL: <http://www.kfaw.or.jp/>

## レディースもじからのお知らせ

### ◆ジェンダーワークショップ◆ 「深田伸幸さんのフラダンスとの関わり方や 生き方について学ぶ」 ~新しい自分に出会おう~

ワークショップの中で、講師指導によるフラダンスを楽しむ時間も  
 あります。性別に関係なくお気軽にご参加ください。

**日時** 平成24年10月31日(水)・11月14日(水)・11月28日(水)  
 13:30~15:30(全3回)  
**講師** フラダンスインストラクター 深田 伸幸さん  
**対象** 北九州市内に在住または在勤の方。(学生は除く)  
**定員** 20名(先着順)  
**参加費用** 無料  
**託児** あり・有料(1歳以上就学前まで)申込み時にご相談ください。  
**申込方法** 10月3日(水)9:00から、電話または来館にて受付。

北九州市立東部勤労婦人センター・レディースもじ  
 〒800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号  
 TEL.093-371-4649 FAX.093-371-4268  
<http://kinroufujin-kitakyu.jp/moji/>

## レディースやはたからのお知らせ

### 就職支援講座 ファイナンシャル・プランニング 技能検定2級講座

ファイナンシャル・プランニング技能検定2級の資格取得をめざすもの

**日時** 平成24年11月1日(木)~平成25年1月24日(木)  
 おおむね毎週火・木曜日  
 18:30~20:30(全21回) ※12/25・1/1・1/3・1/15は休講  
**対象** 北九州市内に住または在勤の方(学生は除く)で、ファイナンシャル・プランニング技能検定3級の資格をお持ちの方。  
**定員** 20名(先着順)  
**参加費用** 12,300円  
 (受講料 無料/教材費 3,600円/検定料 8,700円)  
**託児** あり・有料(1歳以上就学前まで)申込み時にご相談ください。  
**申込方法** 10月3日(水)9:00から、電話または来館にて受付。  
**検定日** 平成25年1月27日(日)

北九州市立西部勤労婦人センター・レディースやはた  
 〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉二丁目6番6号  
 TEL.093-661-1122 FAX.093-661-2714  
<http://kinroufujin-kitakyu.jp/yahata/>

指定管理者 (財)アジア女性交流・研究フォーラム